

平成27年度文化庁日本語教育研究協議会

日時：2015年10月3日（土）11：30～12：00

場所：エル・おおさか（大阪府労働センター）



空白地域解消に向けたセーフティネットとしての 日本語教室開設事業 ～地域と共につくる日本語教室～

(公財) 兵庫県国際交流協会 日本語教育指導員
財部 仁子

1. 兵庫県の在住外国人の状況①



1. 在留外国人数

96,530人 (H26年12月末 法務省)

2. 兵庫県総人口

5,526,053人 (H27年8月推計人口兵庫県)

3. 総人口に占める在留外国人数の割合

約1.7パーセント

4. 上位5カ国

①韓国・朝鮮 (46,680人/48.4%)

②中国 (23,151人/24.0%)

③ベトナム (6,580人/6.8%)

④フィリピン (3,645人/3.8%)

⑤ブラジル (2,306人/2.4%)

(H26年12月末法務省)

1. 兵庫県の在住外国人の状況②

- ①神戸市に約44.8パーセントの外国人が住んでおり、約半数を占める。
- ②特定の国籍の人が集住する地域は少なく、県内全体では散在地域が多い。
- ③約半数を占める韓国・朝鮮籍はオールドカマーであり減少傾向。
- ④ベトナム籍、フィリピン籍の増加率が高くなってきている。
ベトナム籍: 4,709人(H24年末)⇒6,580人(H26年末) フィリピン籍: 3,494人(H24年末)⇒3,645人(H26年末)
- ⑤在留資格別には、留学生や研修生の受入れが進むとともに、一般永住者の伸び率が高くなってきた。
- ⑥外国につながるのある子どもの日本語、学習支援の必要性も高まっている。

⇒在留外国人を、一時滞在者ではなく、地域を構成する一員として捉えていく必要がある。

2. 兵庫県国際交流協会 地域日本語教育推進事業について

地域日本語教育推進事業

地域向け支援

- ・セーフティネットとしての日本語教室開設
- ・日本語学習支援派遣型研修
(成人・外国人児童生徒)
- ・外国人児童生徒への日本語等支援者養成講座
- ・外国人県民の居場所作り
(成人・外国人児童生徒)

講座主催・教材開発

- ・外国人県民対象日本語講座
※外国人県民対象日本語講座付属
こども日本語・学習支援教室
- ・すぐに役立つ日本語講座
- ・生活者のための日本語教科書作成
『できる? できた!! 暮らしの
にほんご』

普及啓発・連携

- ・ひょうご日本語ネット
- ・ひょうご日本語教師
連絡会議
- ・日本語教育研修会

3. セーフティネットとしての日本語教室開設事業とは？

日本語教室が外国人住民の安否確認などの情報収集・発信に力を発揮！

先月の末、4度目の被災 一方、過疎・嫁不足に悩む地域でもあり、中国、韓国訪問の際、かねて気にならっていた外国人被災者について話を聞く機会を得た。外国人妻が多い。配偶者を亡くしたり、職を失ったり、

岩手、宮城、福島のお家を手放したケースが多く、死亡・行方不明となった外国人被災者は29人。阪神・淡路大震災の199人からすると数は少ないが、外国人登録者数に占める割合は逆に高い。

水産業が盛んな地域で、産関連事業所で働く多く技能実習生や研修生のご心配されたが、事業所が適切な誘導でほとんどが事であった。

齋藤 富雄

年年歳歳

平成23年8月25日(木)毎日新聞



会する手段も無かった。市町村も普段から外国人住民との接触がほとんどない。緊急時の連絡もできなかったと聞く。

今回、外国人の安否確認など情報の収集・発信に力

外国人と被災

を發揮したのは、各地で日本語教室が主催する「日本語教室」であった。日頃から日本語を教えるだけではなく、参加者の生活相談等も受け、独自のコミュニティができていた。つながりがあったから情報が入り、

情報発信にも工夫が要る。外国人被災者は情報が

4. 兵庫県内日本語教室の状況

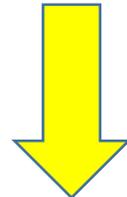
<平成23年度末>

兵庫県内に約100の日本語教室

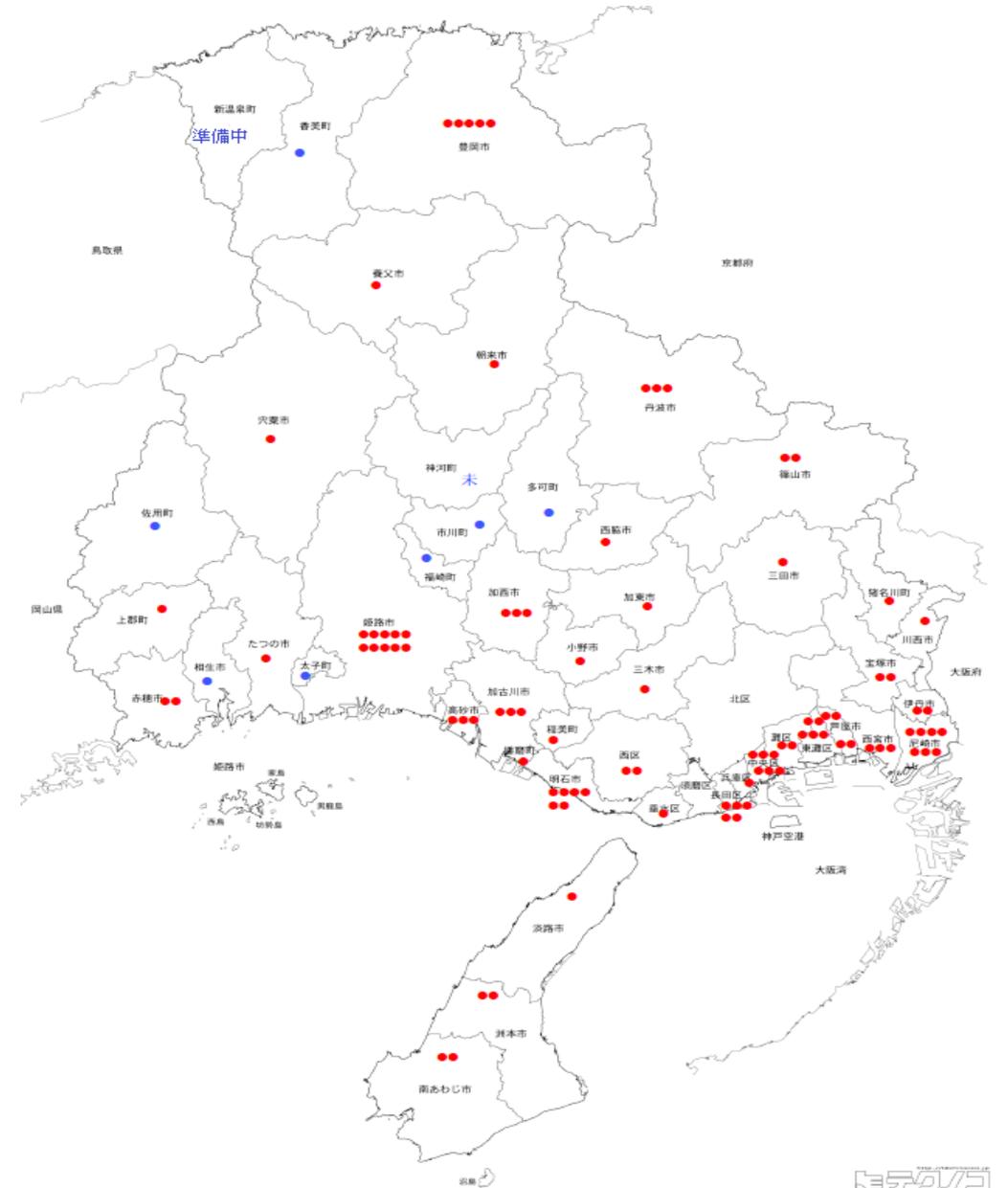
全ての市町に日本語教室がある？



県内**1市8町**の地域で日本語教室が未設置



県内**全市町**に日本語教室開設を目指す！



兵庫も空白地の解消目指す

注目集める日本語教室

外国人被災者の安全網に

地震・台風等の災害時、日本に住む外国人被災者のセーフティネット（安全網）として、官民の日本語教室が果たす役割が注目されている。東日本大震災では、受講生の素早い安否確認につながり、避難者の支援や心のケアでも力を発揮した。こうした実例を踏まえ、兵庫県でも教室拡充に向けた取り組みを来年度にも始める。

津波で大きな被害を受けた市町村のうち、教十分機能せず、同市が運営する日本語教室の講師確保が課題となっている。清原が避難所を回るなどして約200人の無事を確認した。交流のある外国人利用者が少ないという。



日本語教室のない自治体
 県内自治体
 相生市 相模町 新温泉町
 多可町 多可町 多可町
 川西市 川西市 川西市
 三木市 三木市 三木市
 三木市 三木市 三木市
 三木市 三木市 三木市



日本語教室で学ぶ外国人たち。東日本大震災では、素早い安否確認や心のケアなどセーフティネットとして機能した。宮城県石巻市

度には60人近くの安否が分かったケースもあった。

同協会によると、宮城のほか被害の大きかった岩手や福島県で暮らす外国人には、水産業などの実習生とともに、こうした結婚移住者が多い。家庭に入るため広範囲に点在し、インターネット利用者が少ないという。

そのため、母国語が通じる日本語教室は「友人にも会えて情報を得られる貴重な場」と同協会の大村昌枝参事。「勉強以外にさまざまなかたがで、心のよりどころにもなっている」と話す。

宮城県亘理町では、津波被害でしばらく教室が開けず、講師たちが避難所の受講生に物資を届けたり、自宅に招いて話し相手になったりした。「日本語の放送が聞き取れない」「必要な物資を伝えきれない」……。たまたま吐き出す。孤立感から解放され、涙を流す人もいたという。

現在、同県内35市町村のうち教室があるのは4割の14市町。大村参事は「内陸型地震にも備え、まだ日本語教室がない自治体に設置を促していきたい」と話す。

16年前、同じく大震災

兵庫も空白地の解消目指す



を経験した兵庫県も、日本語教室が東北の被災地でセーフティネットとして機能したことを重視。本年度から実施している外国人児童・生徒向けの進路力ウンゼリソグや活動支援に加え、教室の拡充策に取り組む。

具体的には、来年度から相生市など教室のない9市町に設置を働きかけ、宮城と同様に空白地解消を目指す。

県国際交流協会の斎藤富雄理事長は「行政側は外国人の情報をほとんど把握しておらず、教室を拠点としたネットワークづくりが必要。日本語講師の養成や派遣など、地域のニーズに応じて支援していきたい」と話している。

5. セーフティネットとしての日本語教室開設事業開始

平成24年度～

1市8町での日本語教室開設を
市町と協働で開始



セーフティネットとしての 日本語教室とは？

・いざという時にお互い助け合える関係
⇒日ごろのお付き合い
⇒セーフティネットとして機能

・問題が解決できる
⇒その場で解決できなくても相談できる関係
⇒「つなぐ」

・共に地域を活性化できる関係
⇒共に何かを一緒にし、地域を元気にする
⇒多文化共生・社会参加

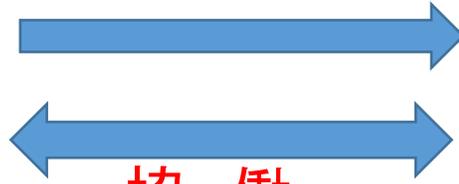
日本語教室や地域交流活動を通して、互いに安心して安全に生活できる関係づくり
⇒セーフティネットとしての日本語教室

6. 地域との協働事業

なぜ日本語教室が必要？

日本語教室開設の働きかけ

兵庫県国際交流協会



市町
国際交流協会
社会福祉協議会など

<協働に至るまで……>



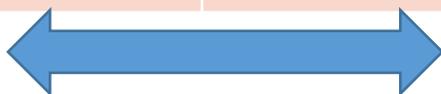
- ・在住外国人の実態は？
- ・学習者はいるの？
- ・学習者は何を求めているの？
- ・だれが日本語教室を運営するの？
- ・支援者は集まるの？

7. 日本語教室開設までの流れとそれぞれの役割

日本語教室開設事業締結

開設時から2年間の日本語教室サポート ・ 助成金15万円／年

兵庫県国際交流協会	市町・国際交流協会・社会福祉協議会等
ノウハウのアドバイス	外国人住民実態調査
日本語学習支援ボランティア養成講座実施	支援者募集
ノウハウのアドバイス・サポート	日本語教室開設準備 (学習者募集・事務)
ノウハウのアドバイス・サポート	日本語教室開始
フォローアップ研修	参加者募集



日本語教室運営状況等情報共有
互いにサポート

8. 各地域におけるさまざまな成果

①外国人住民と日本人住民の関係づくり

- ・日本語学習や交流の場をとおして、地域住民としてのつながり

②市町等と日本語教室の連携

- ・交流会等を行う際、市町職員も参加し、学習者さん、支援者さんとの意見交換の場となる

③日本語教室から地域全体への発信

- ・日本語教室のイベント、地域の国際交流協会やふるさと創造大学等との協働により地域全体の多文化共生理解を図る場へ

④近隣地域との連携

- ・日本語教室開設時や教室見学等、近隣地域での協力

日本語教室での様子

地域で初の日本語教室は地元の新聞にも掲載



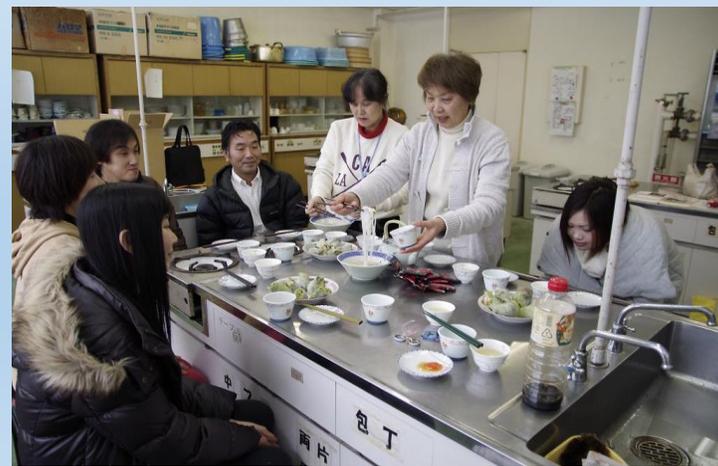
子どももいっしょに日本語教室へ



近隣地域との連携



世界の料理で交流会



9. 4年目に入ってから日本語教室開設地域の課題

日本語教室や市町等の声

- ・日本語教室の運営方法
 - 例) 運営を担当する人の負担
 - 例) 学習者が休みがち
 - 例) 場所の確保
 - 例) 将来的な経費負担は・・・?
 - 例) 支援者、学習者の新規開拓 など
- ・日本語学習支援方法
 - 例) 日本語学習支援方法はこれでいい?
 - 例) 学習者の求めていること、必要としている支援ができています? など
- ・市町と日本語教室のかかわり方

2015年度～

セーフティネットとしての 地域日本語教室運営強化事業

- ・合同研修会実施
(7/18)
各日本語教室紹介
ワークショップ研修
- ・フォローアップ研修
- ・助成金10万円／年
(最大3年まで)

セーフティネットとしての日本語教室開設 合同研修会の様子



各日本語教室はどんな運営
方法を行っているか？
どんな日本語学習支援を
行っているか？
成果や課題は？

合同研修会 ワークショップ



行政としてどのような
課題があるか？

学習者が求めている日本語教室を継続
していくためにはどうすればよいか？
現在の課題と今後できる可能性をさま
ざまな地域の支援者と共に考えてみる



10. 今後の課題

9市町あった空白地域のうち、現在7市町で日本語教室開始
2町で教室開設準備⇒平成27年度全市町に日本語教室開設予定

はじめの第1歩！

県全域における
体制整備の推進

- ・地域住民の皆が安心して、安全に生活できるセーフティネットとしての日本語教室
 - ・より多くの地域住民の社会参加
 - ・地域間の連携
- ・生活者として安心して、安全に生活できる日本語学習支援のリソースの充実

11.生活者としての学習者に役立つ教科書作成

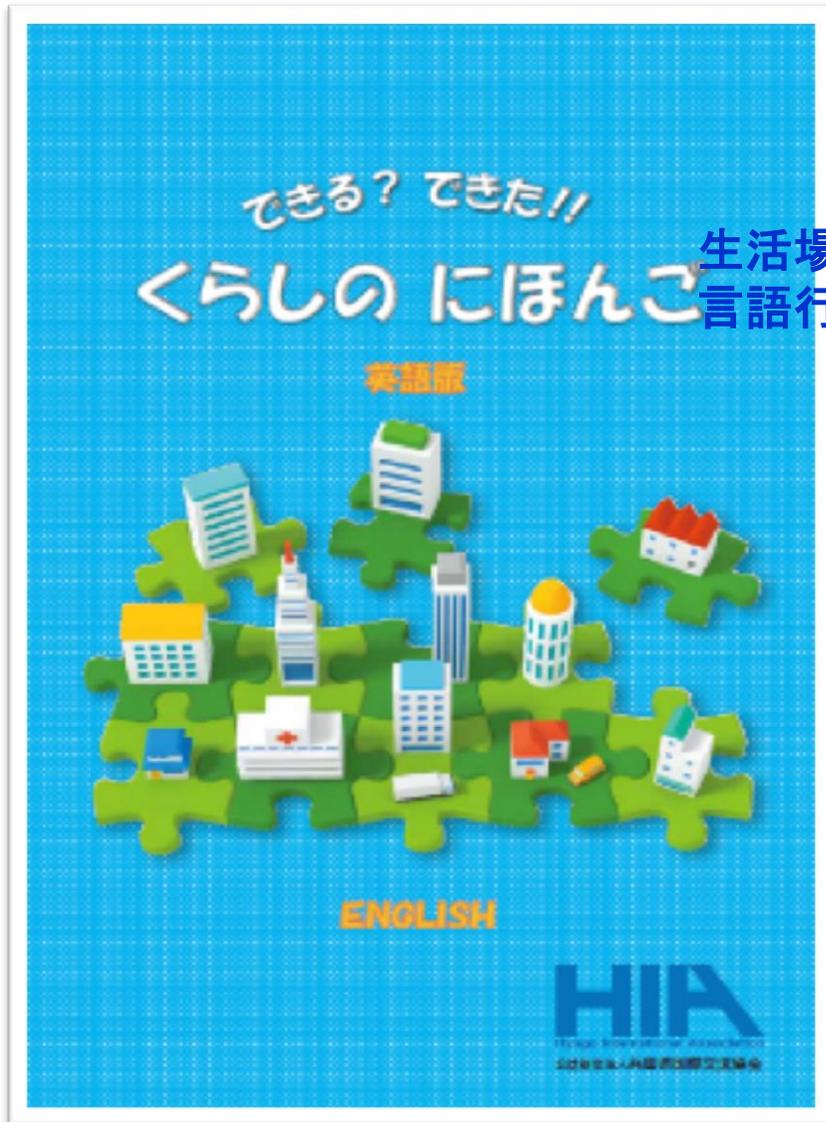
安心して、安全に生活できるための日本語学習支援とは？

生活者に役立つ日本語の教科書作成(平成25年度・26年度)

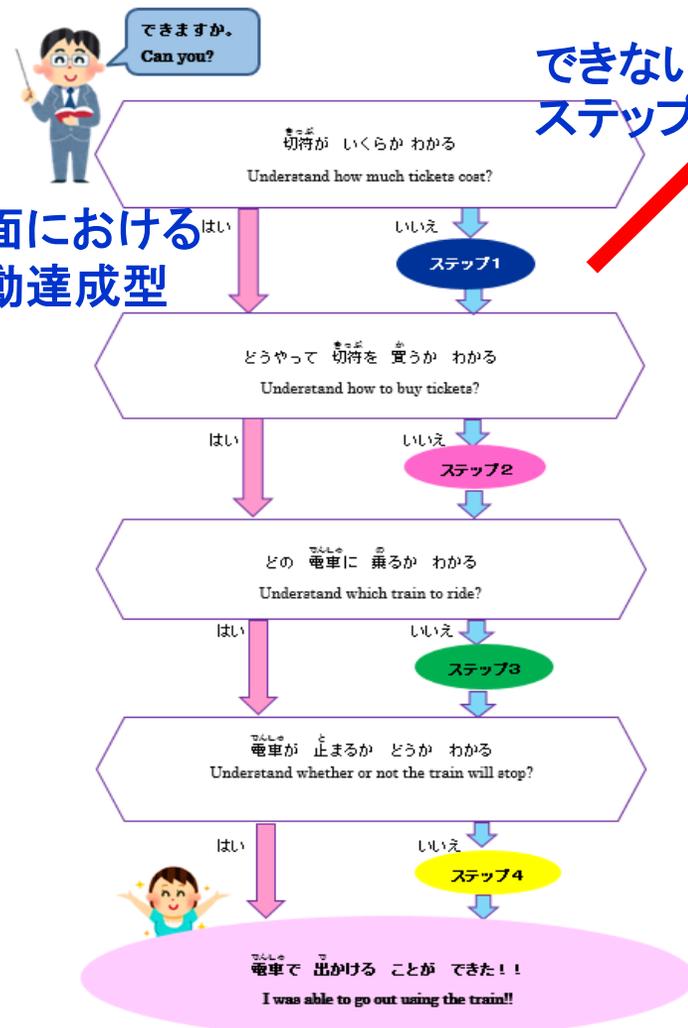
『できる?できた!!くらしのにほんご』

生活場面における言語行動を達成し、社会参加につながる日本語学習支援
地域の生活情報をとおして共に学べる教科書

『できる? できた!! ぐらしのにほんご』



生活場面における 言語行動達成型



できない時は
ステップへ

ステップ1 <切符がいくらわかる>
(Understanding how much tickets cost)
れい) 西宮へ 行きます。→ 300円
生活便利手帳 1 ⇨ Daily Life Guide 1

ステップ2 <どうやって切符を買うか聞く>
(Asking how to buy a ticket)

A: すみません、*切符を 買いたいです。
B: *どこまで 行きますか。
A: * _____ までです。
にしのみや
B: * _____ まで _____ 円です。* お金を 入れて ください。
にしのみや 300
* ここを 押して ください。
A: わかりました。ありがとうございます。

れい) にしのみや 1) 灘 2) 神戸 3) ?

ご清聴ありがとうございました。

